

点検評価シート

政策1 人権教育

第1項 人権の尊重と権利の擁護

施策	主な取り組み	実施事業(評価対象事業)	事業目標(数値目標)	事業実績(数値実績)	事業評価点数	施策平均点数	事業評価点数の主な理由	課題及び改善点	担当
(1)人権施策の推進	①人権の啓発 ②人権教育の推進	○管理職及び一般教職員対象の研修会の充実 (入間市人権教育研修会3回、西部地区人権教育実践報告会、入間地区人権教育研究集会、入間市人権教育実践報告会を実施)	計画通り実施	計画通り実施	5	5.0	若手・中堅・ベテラン・管理職とライフステージに応じた研修を実施し、それぞれのスキルを向上させることができた。	事業の継続と取組内容の充実	学校教育課
		○入間市人権教育推進委員会による小中学校で活用できる指導資料の作成	計画通り実施	計画通り実施	5		同和問題学習にも指導内容を広げたことによって、若手教員の認識向上に寄与することができた。	事業の継続と取組内容の充実	学校教育課
		○「人権標語」「人権作文」への積極的応募・出品(全小・中学校を対象)	計画通り実施	計画通り実施	5		応募してもらっただけではなく、各校内で掲示に生かすなどの活用が見られた。	事業の継続と取組内容の充実	学校教育課
		○視聴覚教材の購入と貸し出し	人権啓発DVDの購入と貸出	啓発DVD2本購入、他課より2本寄贈、視聴者数延べ2,837人	5	4.6	啓発DVDについては、2本の購入と2本の寄贈を受け、内容についても充実している。また、視聴者数も延べ2,837人となり、人権啓発の目的を達成できている。	啓発DVDについては大変高価であるため、多様化する人権問題に対応できるものを購入する必要がある。また、過去に導入したビデオでも視聴できる内容のものもあり、ビデオからDVDへ更新する必要がある。	社会教育課
		○啓発用品の作製と活用	人権啓発用品の作成	計画どおり実施	5		ウェットティッシュの購入を行い、各事業において啓発活動を行うことができた。	啓発用品を配付する機会を更に多くすることが必要である。	社会教育課
		○人権問題講演会・フィールドワーク等、研修会の開催	人権問題講演会、フィールドワークの開催	人権問題講演会1回、フィールドワーク1回、人権啓発講座3回の実施	5		人権問題講演会については、135人の参加があり、参加者の感想も好評であった。フィールドワークについては、定員を超える申込があり、好評であった。	講演会の講師や現地学習会のコース選定が課題である。	社会教育課
		○人権教育推進事業の実施と人権教育実践報告会の開催 (小・中学校PTAによる家庭教育学級・公民館における推進事業)	2PTA5回以上の開催、人権教育実践報告会1回開催	2PTA5回ずつ開催、人権教育実践報告会1回開催	5		PTA家庭教育学級については、135回の開催、参加人数は延べ3,161人であった。公民館については、5回の開催、参加人数は延べ222人となっている。	人権教育推進事業を学校教育、家庭教育(PTA)、社会教育(公民館)にて実施しているが、人権課題は多岐にわたるため、リーダーとなるPTA役員や公民館職員の養成が課題である。	社会教育課
		○人権教育推進協議会の開催	計画のとおり(3回開催)	2回開催	3		今年度実施した人権教育に関する意見聴取を行った。第2回目については委員の出席者が過半数に達しなかったため、中止とした。	人権教育の円滑な推進を図り、明るい未来の地域づくりに寄与するためにどのような活動ができるのか、検討する必要がある。	社会教育課
		○県・西部地区・運動団体等が開催する研修会等への参加	計画のとおり	計画とおり実施	5		計画どおりに実施できた。	参加者について、偏りが見られる。	社会教育課
		○人権への意識を高める学習機会の提供	学習課題を積極的に取り上げ、参加者の満足度が高い事業を実施する	9事業	3.5		3.5	実施した場合2点、関係機関等の専門性を活かした事業が実施できた場合1点、参加者が定員の70%を超えた場合1点、参加者の80%以上の人が満足と答えた場合1点(全館の平均点)	生活様式の変化や国際化、経済格差、LGBTなどによる、近年にみられる新たな人権問題にも対応するため、関係機関との連携を深め、人権意識の高揚、啓発に関する事業を実施する。
(2)平和施策の推進	①平和意識の高揚	○戦争体験者等による「平和を願う講演会」を実施(全中学校を対象)	計画通り実施	計画通り実施	5		5.0	各学校が独自の事前指導を行うことにより、より効果が上がっている。	事業の継続と取組内容の充実
		○「平和ポスターコンクール」への積極的応募・出品(全小・中学校を対象)	計画通り実施	計画通り実施	5	昨年度の応募が50点であったが、校長会への丁寧な説明と依頼により、今年度の応募数は319点であった。		事業の継続と取組内容の充実	学校教育課

政策2 生涯学習
第1項 生涯学習の推進

施策	主な取り組み	実施事業(評価対象事業)	事業目標(数値目標)	事業実績(数値実績)	事業評価点数	施策平均点数	事業評価点数の主な理由	課題及び改善点	担当	
(1) 学習環境の充実	①学習情報の提供 ②学習機会の充実	○生涯学習情報紙「かがやく」の発行	年間2回の発行	計画どおり実施(2回発行)	5	4.3	編集ボランティアの協力により滞りなく編集され、4月1日号、10月15日号の広報と同時配布し、広く市民に供することができた。	広報紙の同時配布物削減計画により、30年度から「かがやく」を、広報紙への折り込みとした。	社会教育課	
		○インターネット等を活用した学習情報の提供	市公式HPに加え、生涯学習をすすめる市民の会でもHPを立ち上げ様々な生涯学習情報を提供する	ほぼ計画どおり実施	4		HPの情報に関しては、常に更新を心掛け、新しい情報の提供ができた。	「いるま学びの場」(生涯学習サークル・教室情報一覧)に関しては、平成28年度までHPから欲しい情報を選択できる形式であったが、平成29年度から公式HPの構築方法が変わり、コンテンツが表示されなくなっている。利用しやすくなるよう改善に努めたい。	社会教育課	
		○「生涯学習茶の都出前講座」の充実	年間40回以上の実施回数	計画どおり実施	3		昨年度に引き続き、入間市の歴史や地理、お茶に関する講座の受講が多かったが、今年度は、公共施設マネジメント事業計画に関する講座の需要も増加した。また、メニュー表の配布を広げた結果、市内高等学校からの利用申込があった。開催回数は35回であった。	受講講座の偏りを防ぐためにも、制限のある紙媒体だけではなく、WEBにそれぞれ各講座の良さをアピールする等、広報に努めたい。また、目標回数に達するようメニュー表配布先を検討する。	社会教育課	
		○「生涯学習ガイドブック」「いるま学びの場」の発行	生涯学習ガイドブック(上・下半期)、いるま学びの場(8月発行)	計画どおり実施(ガイドブック2回、学びの場1回)	5		事業目標通りに実施できた。学びの場については、民間カルチャースクールの情報を追加掲載したことにより、掲載ジャンルの拡充が図れた。	市民が利用しやすくなるよう改善に努めたい。	社会教育課	
(2) 学習活動の充実	①市民の学び合いの促進 ②団体間の連携の促進	○入間市生涯学習推進会議の開催	年1回の会議開催	未実施	1	3.7	組織の見直しによる担当課の変更があり、原課の実施事業の把握が遅れた。	従来の生涯学習推進会議は、庁内で行っている生涯学習関連事業の情報提供をメインとしていた。今後は、生涯学習の方向性や、生涯学習関連団体が持つ資源等の紹介をメインとし、参加者にメリットがある会議に方向転換を図りたい。	社会教育課	
		○市民活動団体への活動支援	生涯学習をすすめる市民の会が企画・執行する生涯学習関連施策への協働	計画どおり実施	5		まちの先生事業や生涯学習いじばんの整備、定例会・部会への出席など、生涯学習施策を連携して行った。	生涯学習をすすめる市民の会の運営基盤の整備を共に行っていく必要がある(幅広い年齢層の会員拡充など)。	社会教育課	
		○市民団体、大学等との連携事業の実施	生涯学習フェスティバルの開催、及び子ども大学の実施	計画どおり実施 フェスティバル(1回)、子ども大学さやま・いるま(5日間)、子ども音楽大学いるま(3日間)	5		フェスティバルでは、例年参加いただけ市民団体が多く、スムーズに運営できている。また、子ども大学では、毎年定員を超える応募があり、とても良い体験学習ができています。	子ども音楽大学いるまに関しては武蔵野音楽大学の大学機能の移転に伴い、今後の実施に向け協議を行っている。	社会教育課	
		○地域住民が自ら企画運営する事業の支援		10事業	4.52		4.5	左記事業を実施した場合と前年度より充実又はほぼ同様の内容で実施できた場合(全館の平均点)	高齢化により会議の参加、役員の仕事等を負担に感じる団体が多く、公民館以外の場所で、個々に発表や展示会等をする団体が増えてきている。社会教育団体として、他団体とのつながり、地域還元等の意識が希薄化している。公民館事業からサークル化し、住民の自主的な活動を始めたケースがあった。	公民館
		○世代間交流事業、地域交流事業の実施	学んだことを地域に生かす事業を実施する	20事業						公民館

第1項 生涯学習の推進

施策	主な取り組み	実施事業(評価対象事業)	事業目標(数値目標)	事業実績(数値実績)	事業評価点数	施策平均点数	事業評価点数の主な理由	課題及び改善点	担当
(3)学習成果の活用	①学びを活用する 機会の充実 ②学習機 会の充実	○文芸入間の発刊	3月に第41号創刊	3月1日 計画どおり発行	5	4.7	9人の編集委員の協力により、第41号の発行ができた。	投稿者の高齢化及び減少の問題あり。新たな投稿者拡充に力を入れる必要がある。	社会教育課
		○生涯学習フェスティバルの開催	第24回いるま生涯学習フェスティバルを開催	12月2日 計画どおり実施	4		例年参加する団体が多く、準備、片づけ等もスムーズにできた。	事業がマンネリ化しないよう、新たな企画立案を図りたい。	社会教育課
		○まちの先生講座の開催	7年目となる「まちの先生」を活用した講座を開催	10月半ばから、11月末の1ヵ月半にわたり、32講座を開催	5		延べ人数385人が受講した。参加者の93%が「満足」という結果を得られた。	今回も、講座開催決定後のキャンセルが多く出た。材料を用意する講座もあり、今後参加費の徴収に関し、取り決めに強化していく必要がある。	社会教育課
		○美術、音楽、演劇、その他芸術の発表会等の開催	学んだことを地域に生かす事業を実施する	63事業	4.21	4.2	左記事業を実施した場合と前年度より充実又はほぼ同様の内容で実施できた場合(全館の平均点)	ボランティアの育成に関しては、今後実施に向けて検討する。	公民館
	○地域住民を講師やボランティアに招いた事業の実施	21事業		公民館					
	○ボランティア養成事業の実施	1事業		公民館					
	○各種団体、サークルの地域還元活動を促進する事業の実施	9事業		公民館					

政策3 幼児・学校教育

第1項 学校教育の充実

施策	主な取り組み	実施事業(評価対象事業)	事業目標(数値目標)	事業実績(数値実績)	事業評価点数	施策平均点数	事業評価点数の主な理由	課題及び改善点	担当
(1)学校教育体制及び学習環境の充実	①学校経営の充実	○次期学習指導要領に対応する教材・教具、学校管理備品等の計画的な整備	教材・教具、学校管理備品等を計画的に整備する。		5	4.3	各学校の要望に応じて予算の範囲内で教材備品を計画的に整備し、児童及び生徒の学習全般に活用することができた。また、老朽化した児童・生徒用机・椅子の入替えを行うことができた。	財政状況は厳しいものの、教育環境に支障をきたすことがないよう、計画的な備品の更新に努める。	教育総務課
		○学校図書館図書等の計画的更新	学校図書館図書等を計画的に更新する。	文部科学省学校図書館図書標準による学校図書館蔵書充足率100%を目標	4		文部科学省学校図書館図書標準による学校図書館蔵書充足率100%を目標とした結果、平成31年3月末の充足率の平均は小学校で89.64%、中学校では81.01%であった。	財政状況は厳しいものの、引き続き学校図書館蔵書充足率100%を目指す。	教育総務課
		○ICT機器及びICT環境の計画的な整備	ICT機器及びICT環境を計画的に整備する。		4		教育用コンピュータの更新に伴い、小学校4校については、コンピュータ教室のコンピュータの台数を40台とし、児童一人につき1台配置することができた。	入間市小中学校ICTプランに基づき、小中学校のICT化を効果的かつ効率的に推進していく。	教育総務課
	②生徒指導・教育相談の充実 ③子ども未来室事業の推進 ④教材・図書等の充実 ⑤子育て家庭への経済的支援 ⑥新学習指導要領への対応	○小中一貫教育をととしての学力向上及び生徒指導の充実	27校で実施	27校で実施	5	4.7	各中学校区内での合同研修や、授業公開をととして、学校種間の指導方法を学び合うことができた。また、生徒指導に関する情報交換を密に行うことにより、児童生徒理解を深めることができた。	事業の継続と発展	学校教育課
		○小中一貫教育をととしての学力向上及び生徒指導の充実学校力を高める人事評価制度の推進	27校で実施	27校で実施	5		教職員個々が自己の目標設定、振り返りを確実に実施し、資質向上に努めることができた。	事業の継続と発展	学校教育課
		○学校評価の充実と積極的広報	27校で実施	27校で実施	5		全校で自己評価及び学校関係者評価を実施し、学校だよりなどで公表することができた。その結果を教育活動に活用している。	事業の継続と発展	学校教育課
		○学校評議員制度の充実	27校で実施	27校で実施	5		各校で工夫を凝らしながら、年3回以上評議員会を開催することができた。	事業の継続	学校教育課
		○委嘱研究の奨励と学校支援の充実	27校で実施	27校で実施	5		委嘱校においては、着実な研究を進め、学校テーマに即した研究発表を実施することができた。	事業の継続と発展	学校教育課
		○校長会議、教頭会議の定期・臨時の開催及びその充実	校長会議12回 教頭会議4回	計画通り実施	5		事前の資料精査・配付、効果的な説明をととして、短時間で充実した会議運営を実施することができた。	事業の継続と内容の充実	学校教育課
		○家庭・地域との連携・協働をととした学校づくりの推進	27校で実施	27校で実施	5		PTA活動、青少年健全育成会との連携を指導し、地域に根ざした学校づくりを推進した。	事業の継続と内容の充実	学校教育課
		○ホームページや教育広報(年2回発行)での情報発信	小中一貫教育研究発表会の広報、教育広報(年2回発行)	計画通り実施	4		ホームページや教育広報(年2回発行)を活用して、教育委員会の取組や各学校の取組を情報発信することで、多くの市民に理解してもらうことができた。	事業の継続と内容の充実	学校教育課
		○エフエム茶室、入間ケーブルテレビと連携した広報活動の充実	毎月給食を紹介する	毎月紹介できた	4		学校の話やトピック情報を提供し、広く市民に広報することができた。	事業の継続	学校教育課
		○各校の実態に即した生徒指導体制の確立とその支援	1学期、生徒指導訪問時に確認	1学期、生徒指導訪問時に確認	4		1学期の生徒指導訪問時に、報告・連絡・相談体制が確立されているかを確認し、指導した。	事業の継続と内容の充実	学校教育課
		○全校各学期1回の生徒指導訪問による実態把握と学校への支援	小学校16校×3回 中学校11校×3回	小学校16校×3回 中学校11校×3回	5		毎学期の生徒指導に関する訪問を通して、各校の課題を把握するとともに、児童生徒への支援方法について助言をおこなった。	事業の継続と内容の充実	学校教育課
○「いじめ防止基本方針」に基づく取り組みの推進	いじめ問題調査審議会 年1回 いじめ問題対策連絡協議会 年2回	いじめ問題調査審議会 年1回 いじめ問題対策連絡協議会 年2回	4	いじめ防止基本方針に基づき、調査審議会を1回、連絡協議会を2回実施した。その中で、本市の現状と取組について報告し、示唆をいただいた。	事業の継続と発展	学校教育課			

第1項 学校教育の充実

施策	主な取り組み	実施事業(評価対象事業)	事業目標(数値目標)	事業実績(数値実績)	事業評価点数	施策平均点数	事業評価点数の主な理由	課題及び改善点	担当
(1)学校教育体制及び学習環境の充実	①学校経営の充実 ②生徒指導・教育相談の充実 ③子ども未来室事業の推進 ④教材・図書等の充実 ⑤子育て家庭への経済的支援 ⑥新学習指導要領への対応	○警察、児童相談所等、関係諸機関と連携した非行防止教室、情報モラル教室、薬物乱用防止教室の全校実施	全校実施	全校実施	5	(4.7)	狭山警察署による非行防止教室を小学3年と中学1年を全校で実施した。また、情報モラル教育、薬物乱用防止教室を警察署や通信会社の協力で実施した。	事業の継続と内容の充実	学校教育課
		○入間市ネットパトロール事業の推進(小学校、中学校対象)	市内全校を対象に毎月調査	市内全校を対象に毎月調査	4		ネットパトロールで挙がってきた情報については、毎月学校へ提供し、指導に生かすことで、非行の抑止力となった。	非行的な書き込みが目立ち、非行防止に役立った。氏名や写真などの個人情報の安易な掲載もあり、モラル教育を要す。	学校教育課
		○学校、さわやか相談室、教育センター相談室、適応指導教室(ひばり教室)の連携による総合的な不登校対策の推進	・月7日以上欠席者の報告 年11回 ・生徒指導訪問時による確認 学期1回	月7日以上欠席者の報告 年11回 ・生徒指導訪問時による確認 学期1回	4		月7日以上欠席者を各学校から報告させ、児童生徒の現状やその変化について把握した。それを基に、訪問時で確認し、支援方法について助言を行った。	事業の継続と発展	学校教育課
		○市長部局実施の事業(生活支援課の「アスポート事業」、こども支援課の「一人親家庭の学習支援」との積極的連携)	定期的な情報交換等の実施	年4回実施	5		学校での様子等を情報提供するとともに、アスポートでの様子について報告を受け、支援の一助とした。	事業の継続	学校教育課
		○幼稚園、保育所(園)、小・中学校への巡回支援とその充実	400回	400回以上	5		臨床心理士・作業療法士などの専門家が巡回を行い、助言を行うことで、子どもへの支援が充実した。	事業の継続と内容の充実	学校教育課
		○幼児の通級指導教室「茶おちゃお教室」、小・中学校の通級指導教室の充実	茶おちゃお開設・小中27校中26校開設	計画どおり実施	5		茶おちゃお及び小中学校全てで通級指導教室での指導を行うことで、自校で多くの児童生徒に対して適切な支援を行うことができた。	事業の継続と内容の充実	学校教育課
		○「遊びと学びの手引き(本編)」及び「遊びと学びの手引き(安全編)」の活用促進	活用率100%	活用率100%	4		手引きの周知ができており、引き続き各学校・施設で活用できた。	手引きの活用についての研修会の充実	学校教育課
		○保・幼・小・中・高の交流、連携の推進	・保幼小連絡会、小中連絡会の全校実施 ・中高特連絡協議会の実施	・全校で実施 ・1回実施	5		連絡会については、各学校でなめらかな接続のために充実した取組になった。中高特連絡協議会についても、市内だけでなく、近隣の学校も参加し、充実した会になっている。	事業の継続と内容の充実	学校教育課
		○特別支援学校との連携の推進(入間わかくさ高等特別支援学校、狭山特別支援学校、日高特別支援学校等)	各学校の実態に応じて実施	各学校の実態に応じて実施	4		各学校の実態に応じて、コーディネーターの派遣依頼、学校見学等を行い、連携を行った。	事業の継続と内容の充実	学校教育課
		○親の不安軽減を目指した学習講座の充実	27校で実施	27校で実施	5		小学校では、就学時健康診断の際に、中学校では、入学説明会の際に実施している。	保護者のニーズに応じた講座の実施とそれに合わせた講師の選定	学校教育課
		○「育ちの記録シート」の活用促進	就学時健診にて説明を全小学校で実施	就学時健診にて説明を全小学校で実施	4		就学時健康診断で全ての小学校で新1年生の保護者に「育ちの記録シート」について説明を行うことで、周知することができた。	事業の継続	学校教育課
		○巡回支援、研修会をととしての保育士・教師等への支援の充実	・保幼小中連携研修会の実施 2回 ・巡回支援の実施	・2回 ・400回以上	5		研修会や巡回支援を通して、保育士や教師の子どもや親に対する支援の仕方を向上させることができた。	事業の継続と内容の充実	学校教育課
		○経済的支援が必要な保護者への確実な周知	27校で実施	27校で実施	5		定例的な周知のほか、制度変更時にも周知できた。	事業の継続	学校教育課
○新入学児童保護者会における未就学児の保護者への制度の周知	16校で実施	16校で実施	5	計画通り実施できた。	事業の継続	学校教育課			
○新入学児童生徒学用品費の入学前支給	入学前に支給	12月末と3月末に支給	5	支援を必要とする入学前に支給できるよう制度を見直し、実施できた	事業の継続	学校教育課			

第1項 学校教育の充実

施策	主な取り組み	実施事業(評価対象事業)	事業目標(数値目標)	事業実績(数値実績)	事業評価点数	施策平均点数	事業評価点数の主な理由	課題及び改善点	担当
(2)学校教育内容の充実	①学力向上策の充実 ②教職員研修の充実 ③豊かな心を育む教育の推進 ④健康・安全教育及び食育の推進	○学校指導訪問による教職員の指導力の向上	13校で実施	14校で実施	5	4.5	マンツーマンでの研究協議を全校で実施し、協議内容を深めることができた。	事業の継続	学校教育課
		○小中一貫教育をとおしての授業指導の充実	27校で実施	27校で実施	5		各中学校区内での合同研修や、授業公開をとおして、学校種間の指導方法を学び合うことができた。	事業の継続	学校教育課
		○少人数指導及びユニバーサルデザインの視点を活かした授業づくりの充実	27校で実施	27校で実施	5		県から配置された少人数指導加配制度を活用し、少人数指導やティームティーチングを推進することができた。	事業の継続	学校教育課
		○「学び合い」「教え合い」等、アクティブラーニングの視点を活かした授業づくりの推奨	3回以上の授業研究会実施	11回実施	5		メンバー全員が授業研究会を行うことができた。	事業の継続と内容の充実	学校教育課
		○英語指導助手(AET)の小・中学校配置による外国語教育の充実	27校で実施	27校で実施	3		AET配置の充実と外国語教育の指導力の向上が求められる。	事業の継続と内容の充実	学校教育課
		○手引きの作成や小中共通の学習日の設定による家庭学習の充実	手引きの作成及び小中共通の学習日の設定	27校で実施	4		中学校区の実態に応じて取り組んでいる。	手引きの作成やモデルの提示	学校教育課
		○電子黒板やプロジェクター、タブレット等を活用したICT教育の充実	27校で実施	27校で実施	3		入間ロータリークラブからの寄贈を含めて、7校に電子黒板つきプロジェクターとパッドを1台配置し、授業で活用した。	ICT機器の整備	学校教育課
		○体系的な教職員研修計画の立案と確実な実施	計画通り実施	計画通り実施	5		目的と計画に則って実施できた。	事業の継続と研修内容の充実・精選	学校教育課
		○教育委員会による学校教育の向上・研究を目指した各種委員会の設置(学力向上研究委員会、外国語活動研究委員会、道徳教育研究委員会、体力向上推進委員会、人権教育推進委員会、小中一貫教育推進委員会、教育広報編集委員会、入間市就学支援委員会、入間市教育センター運営委員会、入間市博物館・学校連携事業研究委員会)	27校から委員を選出し、成果の波及を目指す。	27校から委員を選出できた。	5		全校の教職員の協力を得て事業を進めることができた。	変化に応じた委員会の業務の見直し	学校教育課
		○経験、ライフステージに応じた研修の充実(小中一貫教育のベースとなる小5担任育成に特化した研修の実施)	計画通り実施	計画通り実施	5		目的と計画に則って実施することにより、喫緊の課題である若手教員とミドルリーダーの育成に資することができた。	事業の継続と研修内容の充実・精選	学校教育課
		○スクールリーダー及びミドルリーダーの育成を目指した研修の充実(主幹教諭研修会で職場実習を実施)	計画通り実施	ほぼ計画通り実施	3		目的と計画に則って実施できた。職場実習は、関係団体の都合により未実施。	事業の継続と研修内容の充実・精選	学校教育課
		○指導主事の担当制による初任教員に寄り添った丁寧な育成の実施	計画通り実施	計画通り実施	5		各学期1回以上の授業参観と指導を、計画的に実施する事ができた。	事業の継続と研修内容の充実・精選	学校教育課
		○臨時的任用教員の服務規律の確保とスキルアップを目指した研修の充実	経験1年以内は訪問、2年以内は年1回の研修会を開催	対象者全員に実施できた。	5		講義だけでなく、ワークショップ形式を取り入れることにより、より主体的な研修とすることができた。	事業の継続	学校教育課
○学校の全教育活動をとおした道徳教育及び人権教育の充実	全27校全体計画の作成	計画どおり実施	5	各学校で工夫を凝らして、道徳教育及び人権教育の充実に尽力した。	事業の継続と内容の充実	学校教育課			
○道徳の教科化に向けた対応・準備の充実	全27校の個に応じた指導計画の作成	計画どおり実施	5	今年度より、小学校では教科化となり、授業改善や評価方法等について研修を行った。また、中学も来年度からの実施に向け、同様に取り組んでいる。	事業の継続と内容の充実	学校教育課			

第1項 学校教育の充実

施策	主な取り組み	実施事業(評価対象事業)	事業目標(数値目標)	事業実績(数値実績)	事業評価点数	施策平均点数	事業評価点数の主な理由	課題及び改善点	担当
(2)学校教育内容の充実	①学力向上策の充実 ②教職員研修の充実 ③豊かな心を育む教育の推進 ④健康・安全教育及び食育の推進	○体験活動、地域人材、地域教材を生かした学習指導の推進	27校で実施	27校で実施	5	(4.5)	嚙子運やお茶農家など、各校が地域人材を学校応援団として活用することにより、特色ある取組を実施できた。	事業の継続と指導内容の充実	学校教育課
		○狭山茶とふれあう教育の推進 (小学校:茶摘み体験、手揉み茶体験 中学校:茶道(盆点前)体験)	27校で実施	27校で実施	5		茶摘み体験を16校、手揉み茶体験を15校実施した。盆点前体験は全11校の中学校で実施した。	事業の継続と内容の充実	学校教育課
		○入間市博物館での学習をとおした郷土教育(歴史・文化・狭山茶)の充実	27校で実施	27校で実施	5		歴史学習は小学校で縄文を、中学校で中世を全学校で学習し理解を深めた。	事業の継続と内容の充実	学校教育課
		○外国語活動・英語教育の充実や英語指導助手(AET)とのふれあいをとおしてのグローバルな視点と感覚の育成	27校で実施	27校で実施	4		13名のAETを各小・中学校に配置した。新たに小学校3・4年生で15時間、中学校5・6年生で50時間の外国語活動を実施した。	学習指導要領全面実施に向けて、更なる授業の質の向上が期待される。	学校教育課
		○体育授業、体育的活動の量的確保と指導内容の充実	27校で実施	27校で実施	3		小学校では30分以上、中学校では35分以上の運動場を確保できるように全ての学校で授業改善に努めた。	事業の継続と内容の充実	学校教育課
		○新体力テストの結果分析を活かした指導及び体育指導の質的向上を目指した研修の実施	27校で実施	27校で実施	4		新体力テスト結果個票を全児童生徒に配布し、自らの最高記録を達成できるように目標設定ができるようにした。小学校・中学校それぞれ授業研究会を開催し、指導方法の質的向上に努めた。	事業の継続と内容の充実	学校教育課
		○学校全体の体力向上を目指した教育活動の工夫改善と学校への支援の充実	27校で実施	27校で実施	3		市内9校の体力向上策を体力向上推進委員会広報誌に掲載して、市内全家庭に配布した。学校・家庭・地域で連携し、体力向上への意識向上に役立った。	事業の継続と内容の充実	学校教育課
		○全小・中学校の全学年を対象とした交通安全教室の実施	27校で実施	27校で実施	5		全校で実施し、実技や講義、DVD視聴等を通して交通ルールを改めて確認したことで、児童生徒の交通安全に対する意識の向上に役立った。	事業の継続	学校教育課
		○自転車運転免許の取得(全小学校4年)と自転車運転免許更新(全中学校1年)の実施	27校で実施	27校で実施	5		全校で実施し、実技や講義、DVD視聴等を通して交通ルールを改めて確認したことで、児童生徒の技能が向上し、交通安全に対する意識の向上に役立った。	事業の継続	学校教育課
		○スケアードストレート技法(スタントマンによる交通事故の再現)による交通安全教室の実施と保護者の参加促進 (3年間で全校実施:29年度は小学校4校、中学校3校で実施)	-	-	-		実施なし	予算の計上なし	学校教育課
		○危険回避能力を育てる避難訓練の実施と防災訓練への参加促進	27校で実施	27校で実施	4		全校で実施することができた。中学生が防災訓練に参加した。	事業の継続	学校教育課
		○ヘルメットの着用の推進	27校で実施	27校で実施	4		着用の推進を図ることができた	事業の継続	学校教育課
		○栄養教諭等の活用による「食に関する指導」の推進と食物アレルギーへの対応の充実	各教科において全27校で実施・アレルギー検討委員会5回実施	計画どおり実施	5		計画どおり実施することができた	事業の継続と内容の充実	学校教育課
		○国民運動「早寝、早起き、朝ごはん」の推奨	保健指導を中心に養護教諭と連携し、全27校で実施	計画どおり実施	5		計画どおり実施することができた	事業の継続と内容の充実	学校教育課
○地場産の農産物等の学校教育への活用	給食指導と生活科・総合的な学習の時間等27校で実施	計画どおり実施	5	計画どおり実施することができた	事業の継続と内容の充実	学校教育課			

第1項 学校教育の充実

施策	主な取り組み	実施事業(評価対象事業)	事業目標(数値目標)	事業実績(数値実績)	事業評価点数	施策平均点数	事業評価点数の主な理由	課題及び改善点	担当
(2)学校教育内容の充実	①学力向上策の充実 ②教職員研修の充実 ③豊かな心を育む教育の推進 ④健康・安全教育及び食育の推進	○旬の食材の使用や行事食の提供等を通じて、食文化への理解を促すとともに、健康な体を育むための、食の大切さを児童生徒・保護者へ伝える手作り給食を提供(月1回の行事食の提供)	毎月	毎月実施	5	4.5	国内産の食材を使用した季節感のある給食の提供が出来た。これらについて、献立表や給食だより等での周知を図った。	児童・生徒の知的好奇心を刺激し、学び、知ることが心を豊かにし、生きる喜びにつながることを実感できる給食の提供のため、献立立案会議や学校給食打合せ会等により引き続き取り組んでいく。	学校給食課
		○安全な給食食材の確保をするため各種検査を実施 目標実施回数 (1)食中毒菌検査 年2回 (2)食品理化学検査 年2回 (3)給食1食分全体の放射性物質測定の実施(全体検査 年51検体)	計画通り	計画通り実施	5		食中毒等の事故を起こすことも無く、安全安心でおいしい給食の提供ができた。	今後も、衛生管理の徹底が必要である。	学校給食課
		○地場産(県内産・入間市産)の農作物を使った献立の提供	25%	21%	4		地元(市内)生産者提供の食材による給食の提供ができた。	食材品目を増やすため、更なる農政担当との連携が必要である。また、農産物の不作や雪等による収穫ができないときの対応も必要となる。食材品目を増やすため、関係課等と調整を進めていく。	学校給食課
		○調理場のドライ運用の徹底及び推進	100%	56%	3		調理場がドライシステムになっていないため、ドライ運用に準じた方法で作業を行っている。	給食施設の改修等に伴ってドライシステムに変更したいが、なかなか計画が進展しない。	学校給食課
		○給食の安全を確保するため、調理員等への各種研修を実施 目標実施回数 (1)衛生研修 年1回 (2)食育研修 年1回 (3)衛生講習会への参加 年1回	計画通り	計画通り実施	5		計画していた研修を実施できたことにより、衛生意識の更なる向上と職員知識の向上が図れた。	研修の不参加者に研修資料を配付し、レポート提出を義務付けた。	学校給食課
		○衛生管理基準に基づく保菌検査等を実施 (1)菌検査 月2回 (2)ノロウイルス定期一斉検査 年1回	計画通り	計画通り実施	5		食中毒等の事故を起こすことなく、安全、安心でおいしい給食の提供ができた。	今後も、衛生管理の徹底が必要である。	学校給食課

第2項 子ども・子育て支援の充実

施策	主な取り組み	実施事業(評価対象事業)	事業目標(数値目標)	事業実績(数値実績)	事業評価点数	施策平均点数	事業評価点数の主な理由	課題及び改善点	担当
(1)幼児教育の環境整備	①子ども未来室事業の推進 ②幼児の通級指導をとおした支援 ③保護者への情報提供と支援 ④保・幼・小・中連携のための接続研修会の実施 ⑤幼稚園就園世帯への支援	○幼稚園、保育所、小・中学校への巡回支援とその充実	400回	400回以上	5	4.8	巡回支援を行うことで、保育士や教師に対して充実した指導助言を行うことができた。	事業の継続と内容の充実	学校教育課
		○幼稚園、保育所、小・中学校への巡回支援とその充実巡回支援、研修会をとおした保育士・教師等への支援の充実	・保幼小中連携研修会の実施 2回 ・巡回支援の実施	・2回 ・400回以上	5		研修会や巡回支援を通して、保育士や教師の子どもや親に対しての支援の仕方を向上させることができた。	事業の継続と内容の充実	学校教育課
		○親の不安軽減を目指した支援の充実	茶おちゃお保護者講演会の実施4回(臨床心理士・作業療法士による)	4回実施	5		茶おちゃおに通う保護者に講演会を行うことで、保護者の不安の解消や子どもへの具体的な支援の仕方について理解を深めることができた。	事業の継続と内容の充実	学校教育課
		○市長部局(こども支援課、保育幼稚園課、健康福祉センター)との連携の充実	子どもの発達に係る連携会議5回	5回実施	5		市長部局との話し合いを行う中で、連携の方法の具体的な方向性が見えてきた。	事業の継続と内容の充実	学校教育課
		○コミュニケーション能力や感情のコントロール、集団生活での適応能力や自己肯定感の醸成を目指した幼児の通級指導「茶おちゃお教室」の充実	2週間に1度ずつ、後半はグループの人数を増やして実施	計画どおり実施	5		小学校への入学に向け、2・3人のグループから5・6人のグループでの指導へと人数を増やすことで、集団生活に向け準備を行うことができた。	事業の継続と内容の充実	学校教育課
		○小学校との連携をとおした指導体制の整備と充実	遊びと学びの手引きの活用100%	100%活用	5		「遊びと学びの手引き」を活用することで、幼保から小への接続がスムーズに行うことができる体制を整えることができた。	事業の継続と内容の充実	学校教育課
		○幼稚園、保育園にて親の不安軽減を目指した「親の学習講座」の実施	36園・所のうち半分で行う	17園・所で行う	4		少人数の参加型の講座を実施することができた。保護者の方の好評を得ている。	多くの園・所で行えるよう広めていく新たな講師の確保	学校教育課
		○子育てに関するノウハウなどの情報提供と親に寄り添った支援の充実	特別支援学級と通級保護者対象に年3回ずつの研修会の実施	特別支援学級と通級保護者対象に年2回ずつの研修会の実施	4		それぞれ2回の実施ができた。専門性の高い講師を招聘したり、人間わかくさ高等特別支援学校の見学をしたり充実した講座ができた。	保護者の方のニーズに応じた講座の実施	学校教育課
		○保育士、教諭等を対象とした発達障害への理解と適切な対応方法を学ぶ研修会の実施とその充実	・保幼小中連携研修会の実施 2回	2回	5		今年度も多くの保育士や教師が研修会に参加し、研修で学んだことをすぐに実行に移し、成果をあげている施設や学校が多くあった。	事業の継続と内容の充実	学校教育課
		○異校種間のなめらかな接続のためのスキル獲得に特化した研修会の実施とその充実	・遊びと学びの手引き研修会 1回 ・保幼小中連携研修会の実施 2回	・1回 ・2回	5		幼保から小への接続や小から中への接続がスムーズにいくような工夫を研修会の中で多く行い、充実した研修を行うことができた。	事業の継続と内容の充実	学校教育課
○市立幼稚園における入園料・授業料の減免制度の実施	低所得者及び多子世帯の減免	7人	5	計画通り実施できた	平成30年度をもって市立幼稚園閉園	学校教育課			

第3項 学校施設の整備

施策	主な取り組み	実施事業(評価対象事業)	事業目標(数値目標)	事業実績(数値実績)	事業評価点数	施策平均点数	事業評価点数の主な理由	課題及び改善点	担当		
(1) 学校施設の充実・最適化	①校舎・屋内運動場の整備	○幼稚園、小中学校施設における維持管理	63業務	104業務	5	4.3	各施設の維持管理、設備の保守点検は予定どおり実施できた。また、臨時かつ緊急に必要となった業務についても、関係部署と調整して対応できた。	施設の老朽化が進んでいるため、修繕をしても、新たな指摘があり、指摘事項が思ったように減少しない。保守点検の指摘事項を改善できるよう、一覧表を作成し、修繕関係書類として活用している。	教育総務課		
		○小学校施設における整備事業及びバリアフリー化の計画的な推進 (1)エアコン設置事業 (2)金子小学校講堂兼屋内運動場屋根改修等工事 (3)豊岡小学校プール水槽等塗装改修工事 (4)黒須小学校高圧気中負荷開閉器等改修工事 (5)高圧受電設備PCB含有機器改修工事 (6)金子小学校防音機能復旧工事実施設計業務委託 (7)コンデンサー機器運搬・処分業務委託 (8)障害のある児童等に係る施設改修工事 (9)合理的配慮の提供に係る改修工事 (10)バリアフリー化改修工事 (11)校舎内環境整備工事	10事業	14事業	5		改修工事は予定どおり実施できた。老朽化に対応する工事に加え、台風による災害が発生するなど、不測の事態も柔軟に対応できた。 また、特別支援学級の対応など各施設からの特有の要望や条件があったが、予算を効果的に執行することができた。予算化した一部の工事について、他部署が所管する事業の進捗から見送りとなった。	老朽化に起因した不測の事態が生じたり、近年は天候不順による災害など、不測の事態となるケースもあるため、関係各課との連携を強化し、今後も公共施設マネジメント事業計画や、教育委員会の『入間市立小・中学校の適正化に関する基本方針』に基づき、統廃合や大規模改修、長寿命化、改築工事等を計画的に進めていかなければならない。	教育総務課		
		○中学校施設における整備事業及びバリアフリー化の計画的な推進 (1)エアコン設置事業 (2)黒須中学校校舎外壁等改修工事 (3)高圧受電設備PCB含有機器改修工事 (4)上藤沢中学校フェンス等設置工事 (5)PCB含有機器運搬・処分業務委託 (6)コンデンサー機器運搬・処分業務委託 (7)障害のある生徒等に係る施設改修工事 (8)合理的配慮の提供に係る改修工事 (9)バリアフリー化改修工事	12事業	16事業	4		予算化した工事及び工事監理業務委託は、計画どおり実施できた。	金子小学校の屋内運動場を除く、全小中学校の非構造部材耐震化工事が完了した。今後は、校舎の非構造部材耐震化について、耐震対策の絞込みに調整を要する。	教育総務課		
		○小学校施設の計画的な非構造部材の耐震化の促進 (1)屋内運動場非構造部材耐震化工事	2業務	2業務	5		平成29年度からの繰越事業として、工事及び工事管理業務委託を速やかに発注することはできたが天井の一部について、工事監理業者の不手際により、適正な工事を行うことができず、工事が未完了となってしまった。	できるだけ早期の工事完成を目指して、引き続き、関係部署と調整しながら、工事をすすめていく。	教育総務課		
		○中学校施設の計画的な非構造部材の耐震化の促進 (1)屋内運動場非構造部材耐震化工事	2業務	2業務	5		予算化した工事及び工事監理業務委託は、計画どおり実施できた。	財政的な面から、国庫補助の事務を精密にすすめていく。また、今後改修工事を行う学校についても、慎重に取り組む。安全安心を大前提に、できる限り早期の完成を目指す。	教育総務課		
		○金子小学校屋内運動場改修工事の計画的な実施	2業務	1業務	1						
		○小中学校施設の計画的な石綿含有煙突用断熱材除去改修の実施	4業務	4業務	5						
(2) 学校給食施設の充実・最適化	①学校給食センター施設・設備の整備 ②自校給食施設・設備の整備	○学校給食センター施設・設備の充実 (1)既設調理機器(プレハブ冷蔵庫、配膳台など)の更新 (2)学校給食センター更新に係る先進地の事例等、情報収集及び調査研究	計画通り	計画通り実施	5	5.0	老朽化した調理機器を計画的に入れ替えることが出来て、効率的な施設の運営管理に努めた。また、学校給食センターの更新について、関係課と協議しました。	学校給食センター更新を見据えて、老朽化した調理機器の入れ替えを検討することが必要となってくる。	学校給食課		
		○自校給食施設・設備の整備 (1)既設調理機器(牛乳保冷庫、食器消毒保管庫、ガス回転釜など)の更新 (2)アルマイト食器からポリエチレンフタレート製食器(ペン食器)への入れ替えを4校実施	計画通り	計画通り実施	5		老朽化した調理機器を計画的に入れ替えることが出来て、効率的な施設の運営管理に努めた。また、ポリエチレンフタレート製食器を入れ替えたことにより見映えなどが良くなった。	今後も老朽化した調理機器の入れ替えとポリエチレンフタレート製食器の入れ替えが必要。	学校給食課		

政策4 社会教育
第1項 社会教育の充実

施策	主な取り組み	実施事業(評価対象事業)	事業目標(数値目標)	事業実績(数値実績)	事業評価点数	施策平均点数	事業評価点数の主な理由	課題及び改善点	担当
(1)社会教育環境の充実	①社会教育の機会の充実 ②資料の収集・提供の充実 ③社会教育に関する情報の提供の充実	○現代的・社会的課題に対応した社会教育事業の充実を図り、仲間づくりや市民の主体的な学習活動を促進します。	計画どおり	計画どおり実施	5	5.0	小中学生の夏休み体験一覧表の作成や、家庭学習支援の一環として「楽しみながら勉強する」事を目標に在るまキッズアカデミーを2回開催した。	今後も継続して実施する。また、開催会場を豊岡地区だけではなく市内各地区で実施するように計画したい。	社会教育課
		○お茶と地域を総合的に学び、体験する「アリットお茶大学」の開催(受講者数目標1,000人)	受講者延べ1,000人	905人(大人のみ)	4	4.8	講座数を減らしたため参加人数は減少したが、回数を減らした分、内容は非常に充実して、研究生コースの活動をはじめ参加者が主体性をもって取り組めた。	継続して魅力ある講座を実施していく。	博物館
		○地域の歴史・文化やお茶に関する資料の収集・整理、データベース化の実施(新規データ入力3,000件)	3,000件	3,510件	5		文書と植物標本整理の進展で入力数が増加した。	データ化に携わる人材、時間、予算確保。	博物館
		○地場産業の狭山茶、織物等と結びついた講座等の事業を各1事業実施	各1計2事業	3事業	5		織物1、茶2の講座やイベントの他、茶に関する特別展関連事業3を実施。	講座に関わる人材の育成。	博物館
		○市民に身近な博物館としての工夫した展示事業や出前講座を延べ30回実施	延べ30回	44回	5		多くの講座実施希望を受け、答えることができた。	時期や分野に偏りがあるため、全てを希望通りに受けることが難しい。また、特定の団体からの出前依頼が集中する傾向がある。	博物館
		○博物館所蔵の煎茶道具の名品や繁田百鑿齋について紹介するアリットフェスタ特別展「煎茶の愉しみ」の開催(入館者目標4,000人)	4,000人	2,493人	4		研究成果を活かした解説や、狭山茶業界の異才繁田百鑿齋の掘り起しができた。	情報発信の工夫をしていく。	博物館
		○エントランス展示の実施(7回)	7回	7回	5		計画通りに実施することができた。	回数にこだわらず、指定管理者と共にエントランス展示を盛り上げていきたい。	博物館
		○博物館運営の自己評価及び博物館協議会による外部評価と市民への公表	外部評価実施と市民への公表	外部評価、公表済み	5		計画通りに実施することができた。	継続して実施していく。	博物館
		○常設展示の資料特別公開・テーマ展示の実施(2回)	2回	5回	5		茶道関係の資料を中心に季節毎に展示替えを行った。	今後も継続して実施していく。	博物館
		○ホームページの定期的な更新による新鮮で充実した情報提供(ホームページ閲覧目標20万回)	閲覧延べ25万回	338,947回	5		定期的では無く随時更新に努めている結果と言える。	今後も継続して実施していく。	博物館
		○情報紙「ニュース・アリット」の発行(6回)	6回	6回	5		計画通りに実施することができた。	指定管理者の業務として移管したが、今後も継続していく。	博物館
		○市報「施設からのお知らせ」掲載(12回)	12回	12回	5	計画通りに実施することができた。	今後も継続して実施していく。	博物館	
		○コミュニティFM放送、CATV、新聞各社等へ博物館情報を提供(20回)	20回	20回以上	5	計画通りに実施することができた。	今後も継続して実施していく。	博物館	
		○子どもの読書推進のための児童書や、調べ学習に使える児童向け図書を購入	2,635点	2,933点	5	4.6	概ね順調に購入及び寄贈による受入れができたことから5とした。	現状を維持していく。	図書館
		○市民ニーズに応じて、健康・職業・経済に関する図書や文学(小説)、大人向け紙芝居など一般向け図書を購入	6,520点	7,435点	5		例年どおり幅広いジャンルで購入し、受入れができたことから5とした。	現状を維持していく。	図書館
		○各種調査研究のための参考図書を購入	175点	296点	5		例年どおり、毎月、毎年発行されている資料は、購入及び寄贈により受入れできたことから5とした。	現状を維持していく。	図書館
		○視力の弱い方や高齢者の読書推進のための大活字本を購入	110点	111点	5		例年どおり、出版されているものは全て購入できたため5とした。	現状を維持していく。	図書館
		○企業スポンサーによる雑誌寄贈を受入れ	34種	21種	4		目標数には達しなかったが、新たに制度化できたことから4とした。	今までの協賛企業を新制度で確保出来なかったため、今後イベントなど色々な機会を利用して、制度の広報を行いたい。	図書館

第1項 社会教育の充実

施策	主な取り組み	実施事業(評価対象事業)	事業目標(数値目標)	事業実績(数値実績)	事業評価点数	施策平均点数	事業評価点数の主な理由	課題及び改善点	担当
(1)社会教育環境の充実	①社会教育の機会の充実 ②資料の収集・提供の充実 ③社会教育に関する情報の提供の充実	○レファレンスサービス向上のため、県、地区等の研修会に参加	1回	1回	5	(4.6)	県内の図書館職員とともに課題に取り組み、レファレンスに関する知識を得ることができたため。	検索システムで課題解決をしてしまい、他のレファレンス資料を活用しなかった。また、館内のレファレンス資料で情報の古いものは新しくしたい。	図書館
		○高齢者、障害者の読書推進のため、録音資料を作成	3点	4点	5		利用者との電話でのコミュニケーションを重ね、全国の図書館等に所蔵の無い録音図書を作成、提供することが出来た。また、全て11月までに依頼することが出来たため、ボランティアグループが作成にあてる時間を十分に確保することができたため。	一人の利用者からしか作成の希望を聞き出せなかったため、録音図書を読まれている方々とのコミュニケーションをより頻繁に行っていくことで、他の利用者からも作成の希望を聞き出していきたい。	図書館
		○ボランティアの活動の場である「おはなし会」を全館で開催	350回	367回	5		今年度から火曜日の午前中に赤ちゃん向けのおはなし会を始めたことにより、回数・参加者が増えたので5とした。(本館) 毎週水曜、土曜の2回開催しており、ボランティア団体と協力して順調に運営している。参加人数が少ない時があるが、回数は94回と昨年より18回増のため5の評価した。(西武分館) おはなし会回数は前年度並みだが、参加者が2割アップし、子育てサークル(あいくる、くまさんサークル)へも毎週出張おはなし会を開催出来たので、5の評価とした。(金子分館) おはなし会はボランティアグループとトロとの連携も引き続き出来ており、またリピーターも増加しているため、5の評価とした。(藤沢分館)	休日の参加者が少ない。また、おはなし会の時間(午後2時)に来館者が少ない傾向にあるので、おはなし会の最後に次回の予告チラシを配付するなどし、更なるPRに努めたい。(本館) 毎週水曜日・土曜日のおはなし会が極端に参加人数が少ない時があったため、かざぐるまさんと相談し、平成31年4月より開催時間を30分早め10時30分からに変更する。(西武分館) 第三木曜日午前中の集客がおもしろくなく、参加者がゼロの会が全体の6割に上るので、公民館を利用している子育て支援サークルとの連携の中で幅広い展開をしたい。(金子分館) 第一土曜日の参加者数が比較的少ないが、第三土曜日はおはなし会後に実施している工作会が参加者に浸透して効果を上げて来ているので(計10回176人)、それに準じた新たな企画を考え、ボランティアグループと相談しながら参加者増加に繋げていきたい。(藤沢分館)	図書館
		○利用促進事業として「人形劇」を開催	80人	42人	3		今年度は金子分館を会場に実施した。目標人数に達しなかったため3としたが、親子で楽しめる演目を行えたことは良かった。	参加人数が少なかったことについては、PR不足もあるかもしれないので、今後ともPRに努めたい。	図書館
		○子ども読書推進のため「読書ラリー」を実施	300人	330人	5		「読書ビンゴ」の形式にし複数のプレゼントを用意したところ、小学生以外にも幼児や高校生、大人まで参加があり、参加者が増えたため5とした。	子どもの読書推進を目的としているので、小学生だけでなく、幼児や中高生を対象に実施することを検討したい。	図書館
		○利用促進のため文学講演会を開催	100人	84人	5		今年度は日程の都合上、西武分館を会場として実施した。募集人数100名のところ、数日間で定員一杯になったため5とした。(当日欠席があったため人数は84人。)アンケートの結果も好評であった。	事前申し込みの段階で定員一杯(105名)になったので締め切ったところ、当日の欠席が思ったより多かった。今後は、やむを得ない事情以外は、キャンセルされないよう周知に努めたい。また、絵本作家だけでなく、様々な児童文学に関わる講師の講演会も検討したい。	図書館

第1項 社会教育の充実

施策	主な取り組み	実施事業(評価対象事業)	事業目標(数値目標)	事業実績(数値実績)	事業評価点数	施策平均点数	事業評価点数の主な理由	課題及び改善点	担当
(1)社会教育環境の充実	①社会教育の機会の充実 ②資料の収集・提供の充実 ③社会教育に関する情報の提供の充実	○利用促進のため「おたのしみ会」を開催	5回	7回	5	(4.6)	「冬のおたのしみ会」を1回実施出来たので5とした。内容は昨年度の反省から、原作本や冬に読みたい絵本を紹介することにより、本と親しめるよう工夫した。(本館) 以前は冬のお楽しみ会の1回だけだったが、今年は夏休みにちよっとこわいおはなし会を開催した。また、冬は視聴覚室を活用して実施できたので5の評価とした。(西武分館)	産業文化センター改修のため、2019年度は第1集會室(和室)で行う予定。例年は研修室であり、場所が違いため和室に合った演出及びPRIに努めたい。(本館) おたのしみ会は、保育所・学童・母子愛育等との連携を図りながら日程調整を行いたい。(金子分館)	図書館
		○利用促進のため分館3館で自主事業を開催	50事業	47事業	5		毎月必ず自主事業を開催しているので5の評価した。(西武分館) 新規自主事業として、博物館との協力事業、金子地区衛生自治会との共催事業、金子のこいのぼりを実施し、5の評価とした。(金子分館) 昨年度まで実施が少なかった一般向け事業(本の修理講座、お片付け講座等)を増やし好評を得たこと、図書館利用の少なかった方の参加も多い傾向にあり、利用増加への期待が持てる結果となったので、5の評価とした。(藤沢分館)	自主事業は、自然豊かな金子の地域を活かした自然教育や生物多様性を踏まえた自然保護に関する事業の展開を図りたい。(金子分館) 今後、講師を招いての事業にも積極的に取り組み、利用者の新たな興味を引き出し貸出数増加に繋がるように努めたい。(藤沢分館)	図書館
		○視聴覚ライブラリーを活用し映画会を開催	28回	24回	3		毎月2回は確実に実施しているが、上映中断もあったので3の評価とした。2ヶ月に1回は邦画を入れている。(西武分館)	ウィークエンドシネマ上映の際、放映機器の不具合が発生したことがあり、放映機器の点検を早期に実施したい。(西武分館)	図書館
		○図書館運営の自己評価及び図書館協議会による外部評価を公表	1回	1回	5		予定通り実施できたため。	図書館協議会の外部評価をいただいた後の公表となるため、平成30年度分は8月頃の公表を目指したい。	図書館
		○指定管理者の実地調査(モニタリング)を実施	2回	2回	5		予定通り実施できたため。	現状を維持していく。	図書館
		○図書館ホームページのメンテナンスを実施	12回	10回	4		実施が遅れることはあったが、毎月1回システム担当による各ページのチェックを行い、情報の刷新を図った。チェック箇所も随時追加しているため評価は4とした。	更新の必要がある箇所を発見しても、修正が遅れてしまうことがあったので、チェック項目の再確認をしたい。	図書館
		○コミュニティFM放送に出演	50回	50回	4		市役所(本庁)でも放送が流されたので図書館外の方の意見を聞きやすくなった。イベントや展示本の告知もしっかり行うことができた。(本館) 1ヶ月1回程度で出演しており、常勤社員全員が担当しているので5の評価とした。(西武分館) FM茶室への出演はこれまでと同様に行っているが、一部内容について局よりご指摘をいただいた点があったので4の評価とした。(藤沢分館)	紹介した本の予約が増えないことも多かったため、今後研究したい。(本館) 放送される時間帯(昼食時間)に配慮し、紹介する本の選別をしたい。(藤沢分館)	図書館

第1項 社会教育の充実

施策	主な取り組み	実施事業(評価対象事業)	事業目標(数値目標)	事業実績(数値実績)	事業評価点数	施策平均点数	事業評価点数の主な理由	課題及び改善点	担当	
(1)社会教育環境の充実	①社会教育の機会の充実	○CATVでの図書館情報と資料を紹介	8回	12回	4	(4.6)	開催予定の事業情報は伝えており、取材の際はインタビューなど協力をしているため5の評価とした。(西武分館) 昨年度よりも1回少なかったため4の評価とした。(藤沢分館)	出演目標は6回としていたが、他課との調整により4回になったので、今後も出演回数の確保に努めたい。(本館)	図書館	
		○「広報いるま」に毎月1日号に図書館関連記事を掲載	12回	12回	5		計画通りに毎月記事を掲載することが出来たため。	掲載を予定していたイベントの申し込み日が月の初めだったため、広報の配布日程を考慮した結果、掲載出来なくなったイベントがあったため、予めイベントの申し込み日を考慮し、掲載月を調整したい。	図書館	
		○「広報いるま」に図書館関連の特集記事を年1回以上掲載	1回	1回	5		特集記事で、余り周知されていない図書館の利用法についての案内が出来たため。	記事を見やすくするための写真や画像を用意していなかったため、普段から特集記事用に準備して置きたい。	図書館	
	②資料の収集・提供の充実 ③社会教育に関する情報の提供の充実	○高齢社会に対応した学習機会の提供	左の学習課題を積極的に取り上げ、参加者の満足度が高い事業を実施する	40事業	4.93	4.0	左記事業を実施した場合2点、関係機関等の専門性を活かした事業が実施できた場合1点、参加者が定員の70%を超えた場合1点、参加者の80%以上の人満足と答えた場合1点(全館の平均点)	全体的な事業参加者の満足度は高いが、子ども対象、高齢者対象事業ともに参加者の固定化が見られる。新規の参加者を獲得するため、事業の周知方法や内容について、これまでとは違った方向から検討する必要がある。 公民館だよりによって、事業などの周知等を行っているが、市報の発行回数が今後も減少予定であり、情報提供手段、時期について検討する必要がある。 フェイスブックを活用し、事業実施の様子やサークル活動を紹介し、PRに努めている。一方でフェイスブックは運用問題もあり、検討課題となっている。 公民館事業をサークル化し、住民の自主的な活動を始めたケースがあり、社会教育的観点から望ましいと考える。	公民館	
		○健康づくりを推進する学習機会の提供		115事業	4.79				公民館	
		○環境への意識を高める学習機会の提供		22事業	4.07				公民館	
		○安心・安全な暮らしのための学習機会の提供		8事業	3.14				公民館	
		○人権への意識を高める学習機会の提供		9事業	3.50				公民館	
		○学習プログラム研究事業の実施		7事業	3.00				公民館	
		○公民館HP、公民館だより等を活用した学習情報の提供		学習情報、地域の情報等の充実	学習情報の提供				4.86	公民館
		○地域情報(団体情報、地域のトピックス等)の収集、発信								公民館
		○図書、地域資料等の整備、提供								公民館
		公民館FBを月1回以上更新・公民館だよりを月1回以上発行した場合2点、地域情報を収集し、公民館だより等で発信した場合2点、図書、地域資料等を整備し提供した場合1点(全館の平均点)								公民館
(2)家庭・地域の教育力の向上	①乳幼児の親を支援する事業の充実	○PTA家庭教育学級の支援	計画どおり	計画どおり実施	5	4.5	各PTA毎に、各5回実施できた。	PTA役員の参加が不可欠であり、負担が多くなっている。一般会員の参加がほとんど無い事業もあり、家庭教育学級の回数を減らすなど、あり方について検討する必要がある。	社会教育課	
		○青少年関係団体との連携による地域教育フォーラムの開催	計画どおり	計画どおり実施	4				計画どおりに実施したが、参加者が76人であった。しかし、参加者のアンケート結果においては、好評であった。	社会教育課
	②小中学生の親を支援する取り組み ③家庭・学校・地域等の連携の促進	○小中学生を対象とした「子どもお茶大学」の開催(受講者数目標60人)	延べ60人	延べ75人	5	5.0	多くの受講希望者に恵まれたため	今後継続して実施していく。	博物館	
		○市民や関係機関・関係団体との事業を10事業実施	10事業	11事業	5				目標を上回る回数の事業を実施出来た	博物館
		○博物館ボランティア会との協働による「夏休み親子で楽しむ遊びの広場」、「むかしのくらしと道具展」関連イベント等、10事業を実施	10事業	17事業	5				予定を上回る回数の協働事業を実施出来た	博物館

第1項 社会教育の充実

施策	主な取り組み	実施事業(評価対象事業)	事業目標(数値目標)	事業実績(数値実績)	事業評価点数	施策平均点数	事業評価点数の主な理由	課題及び改善点	担当
(2)家庭・地域の教育力の向上	①乳幼児の親を支援する事業の充実	○市民やボランティアによる「アリットお茶大学」の運営を促進(事業参加者目標10人)	10人	28人以上	5	(5.0)	「ALITお茶大学研究生コース」受講生の活躍がめざましかった。	今後も継続して実施していく。	博物館
		○子どもたちの体験を重視した「むかしのくらしと道具展」の開催(参加目標6,500人)	6,500人	6,819人	5		前年度より会期が短かったため、展示会の来場者数は前年を下回ったが、関連事業が好評で参加総数では前年を超えることが出来た。	今後も魅力ある道具展を実施していく。	博物館
		○展示室・茶室等を活用した学校授業の実施(市内全小中学校対象)	27校	27校	5		今年度も全校の利用が達成できたため	今後も継続して実施していく。	博物館
		○「むかしのくらしと道具展」を活用した学校授業の実施(市内小学校16校受入)	16校	16校	5		今年度も全校の利用が達成できたため	受入日程的に難しい面はあるが、近隣市町の学校授業も受け入れていきたい。(今年度2校実施)	博物館
		○学校への「出前授業」の実施や資料の貸出(5回)	5回	11回	5		狭山茶、旧黒須銀行、西洋館についての講師依頼が7校と微増した。戦争時のくらしに関する貸出資料は、1セットだが、時期を効果的にずらして4校の利用があった。	人数に限りがあるので学校利用は学芸員が対応するものは極力来館していただきたい。並行して、貸出用資料セットの開発は進めて件数増加につなげたい。	博物館
	②小中学生の親を支援する取り組み	○図書館見学(小学校3年生)、図書館利用教室(小学校2年生)を市内全校で実施	16校	15校	5	4.5	希望のあった学校には、全て対応できたため。(本館) 利用教室で実施するプログラムについて、担当者によって内容に差がないように研修を行ったこと、開催後には紹介した本を探しに来館する生徒が多数おり、利用促進の効果を感じたため、5の評価とした。(藤沢分館)	都合により、実施しない学校が見学・利用教室とも1校ずつあったため、今後とも学校との連携を密に取り、なるべく実施していただけるよう呼び掛けたい。(本館) 事前に作成する生徒の利用者カードについて学校との調整が難しく、時間と手間が掛かってしまったので、引き続き本館との連絡を密に行い、準備も含めてスムーズな進行に努め、資料の貸出に繋がるプログラムを検討したい。(藤沢分館)	図書館
		○子どもたちを対象とした「プチー日図書館員」を実施(本館)	96人	94人	5		募集人数96人のところ、定員一杯の申し込みがあったため5とした。(当日欠席があったため、人数は94人。)昨年度までは1週間に8回行っていたが、今年度は2週に分けて行ったところ、職員も準備等余裕を持って行うことが出来た。(本館)	現状を維持していく。	図書館
		○学校図書館ボランティア育成のための研修会を開催	80人	48人	4		「読み聞かせについて」と「本の修理について」の2回実施したが、参加人数が目標に達しなかったため4とした。	参加していない学校もある。但し日程の関係又は過去に受講した参加者が、新しいボランティアに引き継いでいるので、参加する必要が無いという理由があり、必ずしも全校参加するべきではないと考える。また、中学校の参加が少ない。盛り沢山の内容のため時間配分が難しい。スムーズに進行出来るように今後とも努めたい。また、内容的に小学校中心になってしまったため、今後は中学校にもより対応するよう努めたい。	図書館
		○移動図書館車の学校への定期的な巡回を実施	8校	8校	5		移動図書館車の学校巡回に当たっては、例年どおり配車出来たため。	移動図書館車の配車時間が合わないため、余り利用されない学校があるため、配車時間を一部調整したい。	図書館
		○配本サービスを実施	39箇所	39箇所	5		希望のあった団体には、全て対応出来たため5とした。	申請するも、都合により余り利用されない学校もあるため、各団体との連携を密に取り、活用していただけるよう呼び掛けたい。	図書館

第1項 社会教育の充実

施策	主な取り組み	実施事業(評価対象事業)	事業目標(数値目標)	事業実績(数値実績)	事業評価点数	施策平均点数	事業評価点数の主な理由	課題及び改善点	担当	
(2)家庭・地域の教育力の向上	①乳幼児の親を支援する事業の充実 ②小中学生の親を支援する取り組み ③家庭・学校・地域等の連携の促進 ④団体支援の充実	○全庁的な子育て支援策の一つとしてブックスタート関連事業を実施	12回	12回	5	(4.5)	目標通り実施できているので5とした。本館職員と分館職員で連携を取り、どの回も同じ内容で実施できている。	目標回数は12回だが、これはBCGの接種回数である。この機会を利用して行っているため、内容的には、沢山の赤ちゃんや保護者に話したいが、これ以上増やすことは不可能であるため、現状を維持していく。	図書館	
		○ブックスタート事業実施に向けて庁内連携会議を開催	1回	0回	1		予算が確保できなかったため、具体的な担当課や会議の予定も立っていないため1とした。	引き続き、予算確保に努めたい。	図書館	
		○庁内関係各課所等との連携協力による事業を実施	7事業	9事業	5		目標の7回「子育てフェスティバル」「入間市平和祈念展」「入間市環境フェア」「ノンビリこそだてひろばまつり」「夏休み子ども文章のつづり方教室」、「思い出のこしプロジェクト」「生涯学習フェスティバル」の他に「ママカフェ」「入間市自然展」にも協力実施できたので5とした。	現状を維持していく。	図書館	
		○「おとなのための朗読会」を開催	1回	1回	5		例年好評であり、参加人数も予定より多いため5の評価とした。(西武分館)	現状を維持していく。	図書館	
		○「古典朗読会」を開催	10回	12回	4		ボランティアグループと調整し、新たにポスターやチラシ等を作成したことで問い合わせは増加したが、参加者数は若干減少したため4の評価とした。(藤沢分館)	これまで主に担当していたボランティアメンバーが抜けたため、演目内容に変更があったことで、リピーターの減少に繋がったと思われる。今後はボランティアグループとの打合せを通して内容の工夫等を検討し、新規利用の促進を図りたい。(藤沢分館)	図書館	
		○「公民館との共催事業」を開催	4事業	5事業	5		企画から公民館と協力することが出来た。サマーキッズ教室は受付初日で定員が満了する人気事業であることや、以前より地域の方から要望があった一般向けの映画会も実施できたが、サマーキッズ教室の受付や、一般向け映画会の休憩時間中の対応に準備不足があったと感じたため4の評価とした。(藤沢分館)	共催事業実施時の役割分担をしっかりと調整し、準備していくよう努めたい。(藤沢分館)	図書館	
		○子どもの学習機会の設定			13事業	5	4.6	左記事業を実施した場合2点、関係機関等の専門性を活かした事業が実施できた場合1点、参加者が定員の70%を超えた場合1点、参加者の80%以上の人が満足と答えた場合1点(全館の平均点)。	今年度実施した長期休暇時の子どもの居場所づくり事業は継続して実施していく。公民館を会場に行われた子ども食堂は、居場所づくりや、地域ぐるみで子どもを育てる社会を目指し、運営主体となる団体が円滑に実施できるよう公民館として今後も支援していく。子育て世代の行動範囲が広がり、子育てサークルの利用者の大半が地区外の住民である。地区公民館としての子育てサークルの役割が変わってきた。関係団体と協力し、サークル等に参加していない地区住民の親子を事業に誘い、親同士の交流を図るようにしていく。	公民館
		○地域の力を生かした子育て支援事業の実施		左の学習課題を積極的に取り上げ、参加者の満足度が高い事業を実施する	38事業	4.5				公民館
		○家庭教育向上のための学習機会の提供			3事業	4.43				公民館

第1項 社会教育の充実

施策	主な取り組み	実施事業(評価対象事業)	事業目標(数値目標)	事業実績(数値実績)	事業評価点数	施策平均点数	事業評価点数の主な理由	課題及び改善点	担当
(3)青少年教育の充実	①体験機会の充実 ②居場所づくりの充実	○平成31年成人式の開催	計画どおり	計画どおり実施	5	5.0	新成人の出席率を高めるため、案内状にQRコードを記載した。また、市ホームページに詳細を掲載したことにより、出席率は74.0%であった。また、集計作業も簡素化され業務時間の短縮につながった。	民法改正により、成人年齢が18歳に引き下げられる。式典対象年齢を検討する必要がある。	社会教育課
	③青少年関係団体の支援の充実 ④青少年を対象にしたスタッフ及びリーダー養成	○青少年の豊かな心を育む事業の実施	左の学習課題を積極的に取り上げ、参加者の満足度が高い事業を実施する	114事業	4.43	4.4	事業を実施した場合と参加者の80%以上の人が満足と答えた場合(全館の平均点)	青少年体験事業は、地域のボランティアや関係団体との連携による事業の企画を検討していく。事業を実施するスタッフの確保が十分ではないため、今後も引き続き関係機関に派遣要請を継続していく。 また、地域の団体が主体となって「子ども食堂」を始めた地域もあり、公民館は地域交流・世代間交流につながる事業として協力していく。	公民館

第1項 社会教育の充実

施策	主な取り組み	実施事業(評価対象事業)	事業目標(数値目標)	事業実績(数値実績)	事業評価点数	施策平均点数	事業評価点数の主な理由	課題及び改善点	担当
(4)文化財保護・活用の充実、伝統文化活動団体の育成支援	①指定文化財の保護 ②文化財保護啓発事業の実施 ③近代化遺産の保存・活用 ④埋蔵文化財の保護 ⑤伝統文化活動団体の支援の充実	○指定文化財の候補選定及び保存・活用に向けた審議の実施(3回)	3回実施	3回実施	5	5.0	市内の貴重な文化財の保護に向けて、新たな指定文化財候補の選定を行うことができた。また、文化財の保存とともに活用に関する貴重な意見をもらい、今後の事業の参考とすることができた。	調査・研究により文化財の価値を高めることで保存につなげるとともに、活用についても積極的に取り組んでいく必要がある。	博物館
		○指定文化財保存事業への支援(事業計画数1件)	1件	1件	5		指定文化財の保存に必要な事業1件に対して、適切な支援を行い、文化財の保存を図ることができた。	市の補助金では対応できない場合もあることから、民間企業の助成金の情報等を収集し、適宜所有者等へ提供できるように努めていく。また、事業の計画的な実施を図るために、所有者等との連絡を緊密に取っていく必要がある。	博物館
		○指定無形民俗文化財保持団体の後継者育成事業を支援(6団体)	6団体	6団体	5		指定無形民俗文化財等の保持団体が行う後継者育成等の事業に対して、支援が必要な6団体へ補助金を支出し、文化財の保存を図ることができた。	引き続き保持団体の事業を支援していくとともに、無形民俗文化財のPRを効果的に行うことで、多くの後継者が生まれるように努めていく必要がある。	博物館
		○文化財講座、文化財防火演習の開催(計5回)	5回	5回	5		公民館との共催による文化財めぐり、西洋館に関する講座を開催することで、市民の文化財保護啓発を図ることができた。また、宮寺地区の坊太子堂で人間消防署と共催による文化財防火演習を実施し、文化財防火意識を高めることができた。	身近な文化財の紹介を通じて、日常的に文化財に親しむ環境を整備していく。また、公民館や図書館等と連携することで、より多くの市民に文化財に関心を持ってもらう場をつくり、文化財の保護啓発につなげていく必要がある。	博物館
		西洋館公開活用事業の実施(入館者数3,000名)	3,000名	5,204名	5		建物の一般公開を7月から3月までに30日間、西洋館の魅力を生かした主催・共催事業を計6事業実施した。入館者は、一般公開で3,002人、他の事業で2,202人、延べ5,204人で、多くの人に西洋館を知ってもらえることができ保存につなげることができた。	引き続き一般公開や様々な事業を実施していくことで、西洋館のPRと保護啓発につなげていく必要がある。また、より効果的な情報提供の手法を研究し、実施していくことで、来館者数の増加を図っていく。	博物館
		○旧黒須銀行公開事業の実施(6回)	6回	6回	5		旧黒須銀行では、8月11・12日、11月9・10日、3月23・24日に特別公開を実施し、636名の来館者があった。市内を代表する近代建築を市内外へPRすることで、文化財保護意識の醸成とシティセールスに貢献することができた。	引き続き公開を行っていくことで、建物の魅力を市民に伝え、旧黒須銀行の保存につなげていく必要がある。建物内の模様替えや外装の補修等の実施、銀行の建物を利用したイベントの実施等、見学者が魅力を感じられる要素を増やしていく必要がある。	博物館
		○旧黒須銀行の保存活用に向けた整備計画の検討	検討の実施	検討の実施	5		11月より旧黒須銀行保存活用庁内検討委員会を設置し、博物館・広報課・企画課・公共施設マネジメント推進課・自治文化課・商工観光課・都市計画課・中央公民館の職員が参加して、旧黒須銀行の今後の活用を考える会議を行った。以降月1回のペースで委員会を開き、検討を進めることができた。	委員会は来年度以降も実施し、6月頃までに保存活用の方向性をまとめた素案を作成、来年度後半に立ち上がる旧黒須銀行保存活用基本計画策定検討市民会議へ活かしていきたい。また、庁内検討委員会内で出された建物の改善案やイベント案などについては可能なものから積極的に実施していく。	博物館
		○埋蔵文化財の調査及び報告書の刊行(全調査箇所)	報告書刊行	報告書刊行	5		開発に先立つ試掘調査を15件実施し、遺跡の所在確認と適切な保存に努め、調査結果を調査報告書として刊行することで、市民の埋蔵文化財への関心を高め、保護につなげることができた。	引き続き試掘・発掘調査等を実施していくことで、埋蔵文化財の保護を図っていくとともに、調査に対応できる体制を整備していく必要がある。	博物館
○地域の伝統文化を守り育む事業の実施	左の学習課題を積極的に取り上げ、参加者の満足度が高い事業を実施する	5事業	4	4.0	事業を実施した場合と参加者の80%以上の人が満足と答えた場合(全館の平均点)	郷土芸能の普及と発展のため、高倉ばやし親子教室等を実施することができた。	公民館		

第2項 社会教育施設等の整備

施策	主な取り組み	実施事業(評価対象事業)	事業目標(数値目標)	事業実績(数値実績)	事業評価点数	施策平均点数	事業評価点数の主な理由	課題及び改善点	担当
(1)施設の充実・最適化	①博物館施設の充実	○展示室の改修計画の研究	研究の進展	進展あり	5	5.0	博物館協議会へ「常設展示の改修計画」について協議し、答申を受ける過程で、研究を進展させることができたため。	より具体性を持たせていくことと予算的な裏付け。	博物館
		○空調設備修繕	修繕の実施	実施済み	5		今年度予定分に加え緊急修繕にも対応することができ、来館者に影響を与えることなく実施できたため。	今後も適宜修繕を実施する必要がある。計画に則して実施していく。	博物館
		○二酸化炭素消火設備容器交換修繕	修繕の実施	実施済み	5		今年度予定分は無事実施できたため。	次年度は指定管理者による交換となるため、一貫性が保たれるようにモニタリングを実施する。	博物館
		○旧黒須銀行自動火災報知設備設置工事	工事完了	完了	5		無事実施できたため。	法定点検等の実施。	博物館
	②図書館施設の充実	○図書館システムの安定的に運用(事故回数をゼロとする)	0回	0回	5	5.0	サーバーダウンは起きなかったため5とした。細かな障害についても減少傾向にある。業者側と図書館側によるシステム定例会も本来は隔月だが、毎月実施できた。	利用者へ影響が出る不具合が新たにみつかることがあるので、事前の検証と迅速な対応を心掛けたい。	図書館
		○西部地域まちづくり協議会(図書館部会)への出席	3回	3回	5		西部地域まちづくり協議会は、ほぼ予定通り開催されたため。	現状を維持していく。	図書館
		○本館の館内設備の充実を図る	2件	3件	5		DVD棚の増設、図書等持ち運び用ショップかごの新設、閲覧席衝立の新設ができたため。	引き続き、館内設備の更新に努めたい。	図書館
		○本館の館内設備の充実を図る	1件	1件	5		西武分館受水槽ポンプの更新ができたため。	引き続き、館内設備の更新に努めたい。	図書館
	③公民館施設の充実	○東町公民館屋上防水修繕	工事・修繕を実施する	施設修繕95件 洋式トイレ設置工事1件	5	5.0	実施の有無。	工事・修繕については、施設の老朽化に対し、対応が追いついていないのが現状であるが緊急性の高いものから計画的に実施していく。 公民館のバリアフリー化対策として実施しているトイレの洋式化については、計画的に実施していく。	公民館
		○公民館非常用照明設備修繕			5				公民館
		○公民館誘導灯設備修繕			5				公民館
		○公民館自動火災報知設備修繕			5				公民館
		○公民館自家用電気工作物修繕			5				公民館
		○バリアフリー化洗浄機能付洋式トイレ設置工事			5				公民館
		○バリアフリー化トイレ手すり設置工事			5				公民館